豊橋市

奈良時代の焼き物工場跡を調査－13 基の窯跡（かまあと）を確認－

深田古窯址群（ふかだこようしぐん）の発掘調査成果

豊橋市では、東細谷町で工業団地の用地造成工事に伴い、令和元年度から深田古窯址群の緊急発掘調査を行っています。このたび、古窯址群の中のＢ・Ｃ古窯において、13 基もの奈良時代の窯跡が確認されましたので、調査の成果をご報告します。

発掘調査期間　令和元年６月～令和３年 11 月予定（調査対象面積 27,350 ㎡）
事 業 主 体　豊橋市土地開発公社（東細谷地区工業団地開発事業）
調査実施業者　（株）二友組
調査指導機関　豊橋市文化財センター

ポイント①　深田古窯址群とは

深田古窯址群は奈良時代（８世紀）の窯跡で、須恵器（すえき）と呼ばれる陶器を７世紀から８世紀にかけて生産した「湖西窯（こさいよう）」の一部です。湖西窯は、浜名湖の西側から豊橋市の東部にかけて 1000 基もの窯が営まれ、製品は東日本一帯に流通した国内屈指の焼き物生産地です。

ポイント②　奇跡的に残りが良い窯跡群

今回の調査では、13 基もの窯跡がずらりと並んで発見されました。中には半地下式の天井が、崩落せずにトンネル状に残るなど、奇跡的に残存状態が良い窯が確認されています。

ポイント③　1300 年前の焼き物工場跡を肌で感じる

下記の見学会が、深田古窯址群の調査を間近で観察できる最後の機会になります。

◆現地見学会（一般対象、当日受付）

新型コロナウイルス感染拡大防止対策 実施

日時　令和３年８月７日（土）　①10:30～12：00　②14:00～15:30
※時間内に自由見学。説明は随時実施
※雨天の場合は翌８日（日）に順延（順延は市美術博物館のＨＰで告知）
会場　深田古窯址群発掘調査現場（東細谷町字境川、潮見バイパス豊橋東ＩＣの西側）
※別途案内図をご覧ください。

問合先　豊橋市文化財センター　電話 0532-56-6060
※見学会当日の問合せは、職員不在のため対応できませんのでご注意ください